

2017年度の主な事業報告

● 独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ振興くじ助成事業は下記の通りです。

■ 第18回ジャパンオープン フレンドリーカップ



9月17日(日)、18日(月祝)に香川県高松市総合体育館において開催されたフレンドリーカップには122チーム、620名が集結し、日頃の練習の成果を発揮すべく熱戦を繰り広げました。ジュニアの部には中国連盟の全永男(チョンヨンナム)氏が率いたチームの参加があり、日本の小学生も

刺激を受けていました。

災害の少ない県で有名な香川県を17日の夜に台風18号が直撃。暴風雨の影響で出席できない人もいた懇親会ですが、来賓や役員のユーモアにあふれた挨拶で始まり、各テーブル対抗のゲーム大会あり、ビンゴゲームありで大いに盛り上がりました。また、大会会場入り口近くには香川県連盟のこれまでの歩みを記した展示があり、設立当初より地域に根ざした普及を行ってきたことが記されていました。スタッフには高校生もおり、小学生の頃に香川県連盟の方にキンボールスポーツを指導され、長ずるにつれてプレーヤーとしてだけでなく、運営の手伝いも行うようになったとのこと。層の厚さを感じました。

■ 全国指導者講習会 2017

年間を通して全国各地で指導者およびレフリー育成、並びにスキルアップのための講習会を開催しました。フレンドリーカップの開催地である高松市でも新規C級レフリー講習会並びにC級レフリーフォローアップ講習会などが開催され、大会本番に向けレフリーの育成が行われました。また、7月16日(日)には国際連盟より講師であるピエール・ジュリアン・ハメル氏(通称PJ)を招へいし、ワールドカップ並びにワールドクラブチャンピオンシップのレフリー選抜を行いました。国際資格であるレベル3の資格を持つレフリー8名の中から、古賀さん、岡村さん、稲垣さんの3名がワールドカップのレフリーに選ばれました。また、韓国から受験のためにやってきたBae Kyung-kyuさんも選ばれ、ワールドカップ全レフリー8名中4名をアジア勢で占めることになりました。



左から古賀充さん、岡村光洋さん、稲垣優さん

■ 指導者派遣2017

全国各地で開催される講習会や体験会に指導者を派遣しました。今年度は、当連盟の役員が仕事の関係で行った講演で配布された資料がきっかけとなり、講師派遣の依頼をしてきた団体があったり、口コミで興味を持った団体から講師派遣の依頼があったりしました。また、昨年、今年と子どもの夏休みに合わせて文部科学省が中心となって開催された「こども

霞ヶ関見学デー」に出展し、用具を披露するとともに資料を配布しました。それを受け取った人が仲間に話し、講習会を開催することを決定。東京都連盟に講師派遣の依頼をするということもありました。このようなきっかけを大切に、普及拡大に努めていきます。

● 他の主な主催事業は下記の通りです。

■ 第18回ジャパンオープン チャンピオンズカップ

2月3日(月祝)に東京都の中央区立総合スポーツセンターにおいて開催されたチャンピオンズカップには男子39チーム、女子26チームが参加。予選から日本一を決めるのに相応しい試合を数多く見ることができました。

※公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ普及奨励助成事業



香川県連盟が平成29年度生涯スポーツ優良団体賞を受賞!



林文部科学大臣(左)と土居会長(右)

香川県連盟は設立当初より県内各地で普及活動を熱心に行ってきました。その活動が認められ、2016年に香川県教育委員会が設けた教育文化功労者として表彰されました。2017年には文部科学省より「平成29年度生涯スポーツ優良団体」として表彰されることになり、10月6日に香川県連盟土居会長が文部科学省での表彰式に出席しました。土居会長が香川県連盟を設立し、長年、他のメンバーとともに活動したことがこの受賞に繋がったのですが、キンボールスポーツの理念であるみんなで「協力」し、みんなが「主役」として活動してこなければ与えられなかったものだと思います。香川県連盟のメンバーだけでなく、愛好者の方たちに支えられて普及が広がり、このような名誉ある賞を受賞されたこと、誇りに思います。今後もさらなるご活躍、発展を期待しています。